

# 資料4

## 公共交通需要調査（概要報告）

2026/2/12 企画財政課

### 1 住民アンケート調査 ・・・ 資料6P～10P

詳細は別添資料参照。

### 2 地域公共交通座談会 ・・・ 資料13P～16P

自治会長等を対象として3回の座談会を開催。第1回では現状の報告及び情報の共有。第2回では意見交換会を実施。第3回では実施した内容の現状報告と今後の協力依頼。

- ・第1回参加者（9月5日～7日実施）

○須賀地区18名 ○駅西口10名 ○古利根地区10名 ○姫宮地区20名

- ・第2回（11月29日実施）

進修館大ホールにて、10時～と14時～の2回で実施

当日参加午前27人、午後20人

- ・第3回参加者（2月6日～8日実施）

○須賀地区9名 ○駅西口12名 ○古利根地区12名 ○姫宮地区19名

### 3 施設インタビュー ・・・ 資料11P～12P

庁内5施設にて利用者を対象に聞き取り調査を実施。主には施設までの移動手段や、施設利用頻度等を調査。

- |          |              |                |
|----------|--------------|----------------|
| ・宮代町役場庁舎 | 10月23日～24日   | 131件（うち町内118件） |
| ・ぐるる宮代   | 10月29日～30日   | 150件（うち町内82件）  |
| ・カスミ     | 10月31日～11月1日 | 169件（うち町内144件） |
| ・東武動物公園駅 | 11月3日～4日     | 224件（うち町内126件） |
| ・六花      | 11月6日～7日     | 113件（うち町内105件） |

### 4 事業者インタビュー ・・・ 資料17P

公共交通事業者の現状等を把握するため聞き取り調査を実施。

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| ・NPO法人きらりびとみやしろ | 12月17日            |
| ・株式会社杉戸タクシー     | 12月17日            |
| ・太平交通株式会社       | 12月17日            |
| ・朝日自動車株式会社      | 12月26日（バス・タクシー合同） |



## 本調査の趣旨

宮代町地域住民の日常の移動を支える手段として、公共交通のあり方検討の基礎とするため、移動実態や日々の困りごとなど、住民生活を取り巻く公共交通の現状について詳細、実態を把握するための調査です。これから宮代町のよりよい公共交通を検討するための基礎資料として取り扱います。

## 調査業務一覧

交通動向調査	町内循環バスのデータを分析
住民意識調査	住民に対するアンケート調査 無作為抽出2,000名の住民に対して、1,017名の回答
主要施設利用者調査	公共施設、医療機関や商業施設など 町内5拠点の利用者に聞き取り調査 10月23日～11月7日実施、792件聞き取り(町内外含む)
地域公共交通座談会	地域交通に関する意見交換 第一回、第三回:地区連絡会議、第二回:ワークショップ
交通事業者ヒアリング	宮代町で交通事業を行う4社、5部門に対して、交通事業者の現状や課題感などをヒアリング

# 公共交通調査について(交通動向調査)

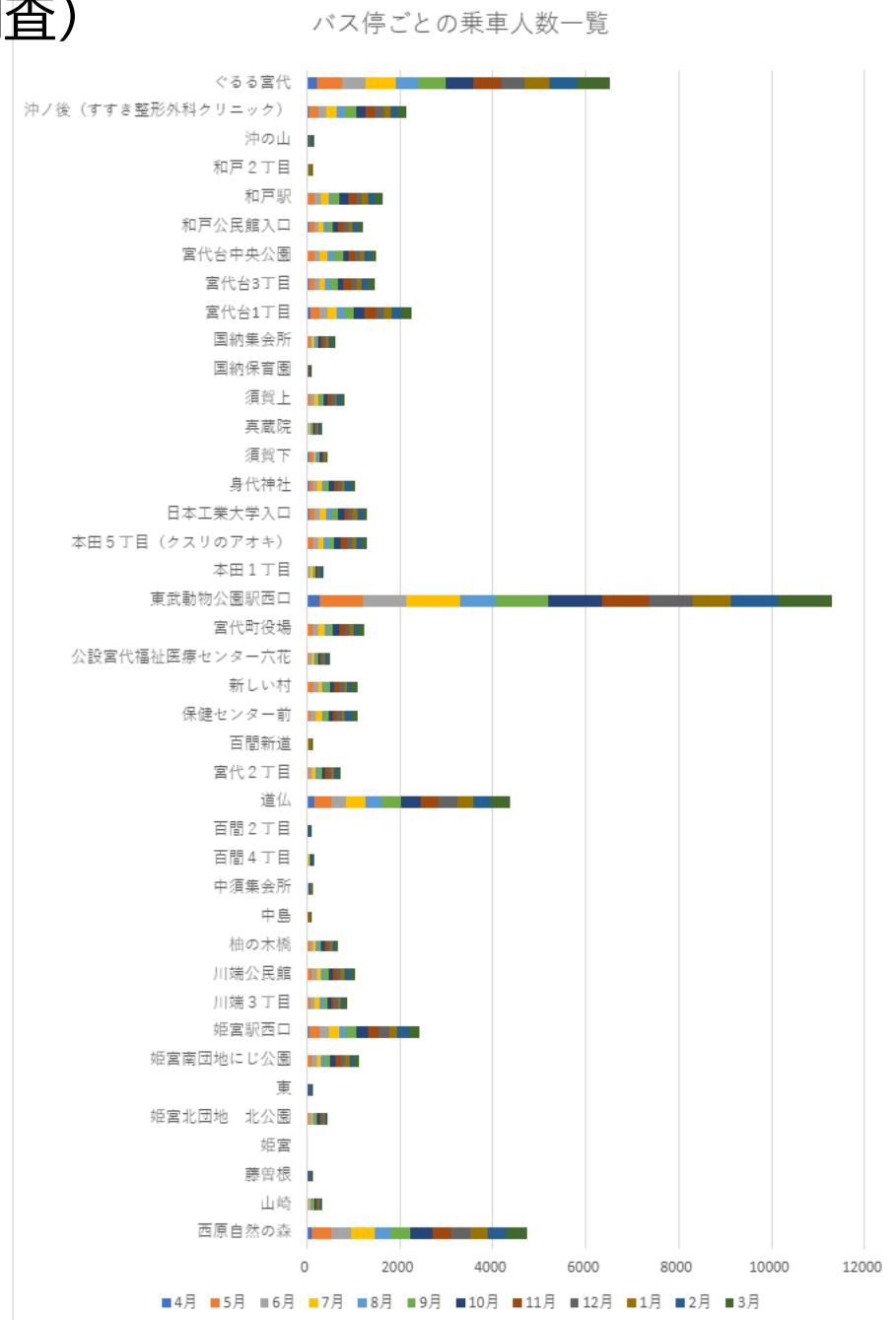
## 町内循環バス乗降データ

バス停毎の乗降者データを一覧化、  
利用者の傾向を分析

### 乗降の多い停留所

- ぐるる宮代
- 東武動物公園駅
- 道仏
- 西原自然の森

宮代台近辺、川端近辺なども住宅地  
近くのバス停として安定した利用が  
見られる。



# 公共交通調査について(交通動向調査)

ぐるる宮代→西原(往路)  
西原→ぐるる宮代(復路)  
(式:降車-乗車)

(一例)

宮代台1丁目

降	2,164人
乗	876人
差	1,288人

ぐるる宮代

降	4,211人
乗	6,542人
差	▲2,331人

## 乗降差分データ

ぐるる宮代→西原(往路) 西原→ぐるる宮代(復路)

(式:降車-乗車)

場所名	降車	乗車	計
宮代台1丁目	2164	876	1288
日本工業大学入口	1804	1113	691
公設宮代福祉医療センター 六花	783	202	581
姫宮駅西口	1098	529	569
須賀上	1309	767	542
宮代町役場	966	531	435

差が大きい停留所については、他の公共交通との併用、ダイヤの不接合などの可能性がある。住民アンケート、施設インタビューとのクロス分析を行う必要

## 公共交通調査について(交通意識調査)

### 住民アンケート項目一覧

#### 個人属性

性別、年代、居住地域、世帯構成、免許取得有無、保有する移動手段

#### 目的別(通勤通学・買い物・通院・趣味娯楽習い事食事等)移動

外出頻度、よく行く行先、利用する移動手段、移動時間、困り事不安

#### 循環バス利用について

利用頻度、平日休日の差異、利用目的、よく行く利用先、行先経路満足度

利用する理由・利用しない理由

#### 高齢者等タクシー助成事業利用頻度

宮代町の公共交通についての考え方

公共交通利便性の向上による外出機会の変化有無

自由記述

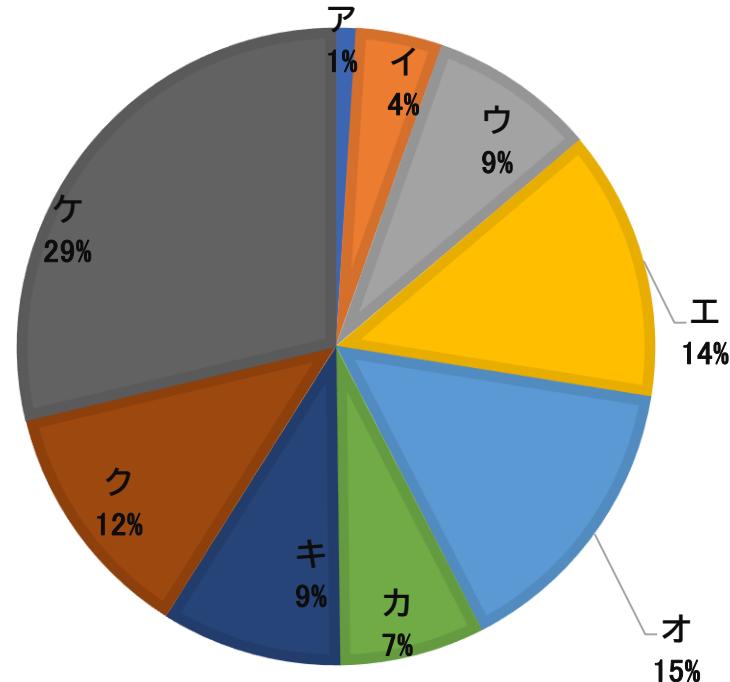
# 宮代町の交通調査について(住民意識調査・一部抜粋)

## 問2 年齢について

回答者数 1,006名  
(※無回答者数 11名)

### 問2 年齢について

■ア 10代 ■イ 20代 ■ウ 30代 ■エ 40代 ■オ 50代  
■カ 60~64歳 ■キ 65~69歳 ■ク 70~74歳 ■ケ 75歳以上



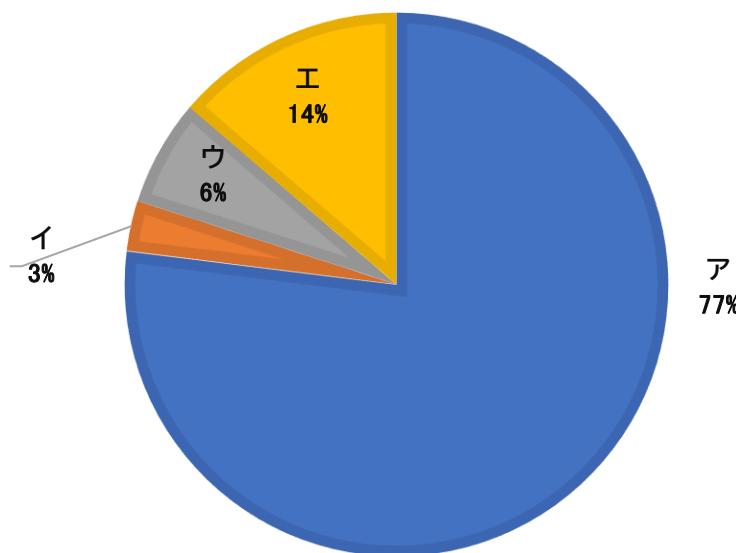
# 宮代町の交通調査について(住民意識調査・一部抜粋)

## 問5 運転免許所有の有無について

回答者数 1,006名  
(※無回答者数 11名)

### 問5 運転免許所有について

- ア 持っている
- イ 過去に持っていたが、現在は持っていない
- ウ 過去に持っていたが、自主返納した
- エ これまでに運転免許を持ったことがない



### 回答上位

持っている 77%(775件)

これまでに運転免許を持ったことがない  
14%(138件)

過去に持っていたが、自主返納した  
6%(64件)

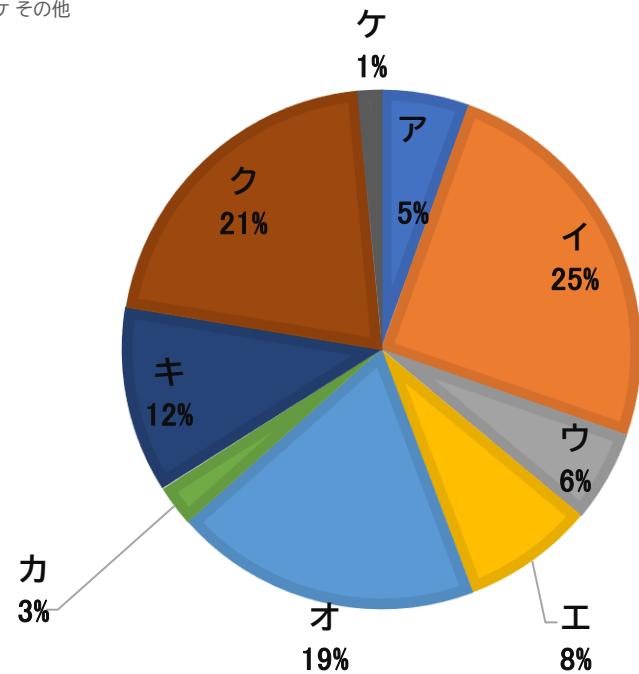
# 宮代町の交通調査について(住民意識調査・一部抜粋)

## 問11 外出に関する不安について

回答者数 967名  
(※全体回答件数 1,609件)

### 問11 外出で不安や困ったこと

- ア 車の運転に負担を感じる
- ウ 家族等の送迎が負担
- オ 公共交通に不便さを感じる
- キ 公共交通の乗り継ぎなどが複雑、時間がかかる
- ケ その他
- イ 運転できなくなった時が不安
- 工 送迎してもらうことに申し訳なさを感じる
- カ 公共交通の利用方法がわからない
- ク 特に不安や困ったことはない



### 回答上位

イ:運転できなくなった時が不安  
25%(400件)

ク:特に不安や困ったことはない  
21%(336件)

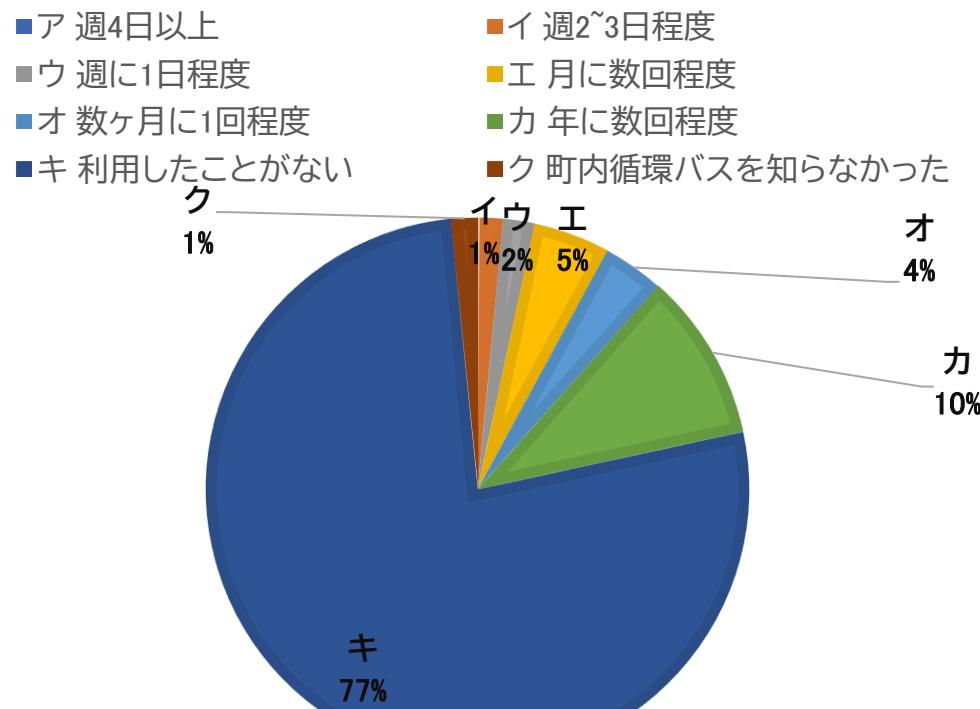
オ:公共交通に不便さを感じる  
19%(309件)

# 宮代町の交通調査について(住民意識調査・一部抜粋)

## 問12 循環バスの利用頻度について

回答者数 958名  
(※無回答者数 59名)

### 問12 循環バスの利用頻度について



### 回答上位

キ: 利用したことがない 77%(736件)

力: 年に数回程度 10%(96件)

オ: 月に数回程度 5%(44件)

…

イ: 週2~3日 1%(14件)

## 公共交通調査について(主要施設利用者調査)

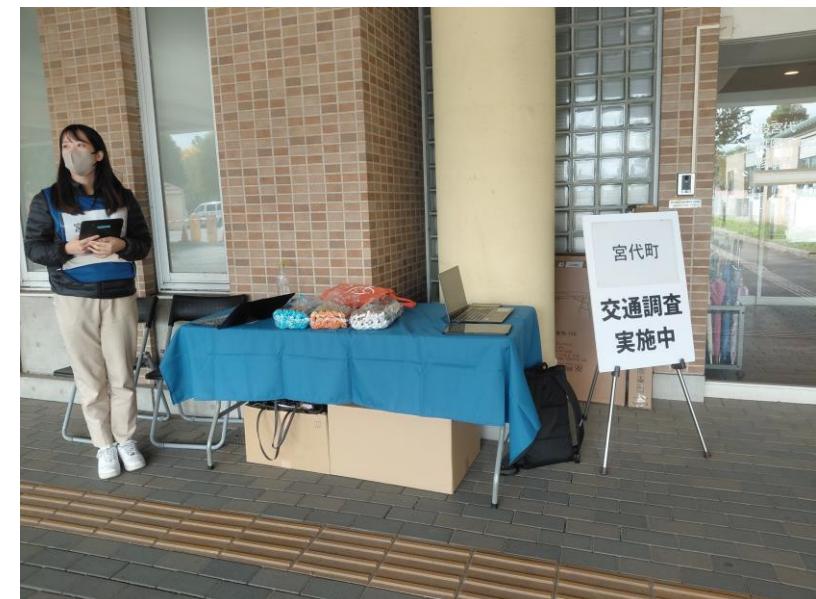
### 町内主要施設における利用者ヒアリング調査

開催日: 2025年10月23日～11月7日(5か所、10日間)

開催場所: 宮代町役場、総合運動公園(ぐるる宮代)、ピアシティ宮代、  
東武動物公園駅、公設宮代福祉センター六花

参加者数: 792件聞き取り(町内外含む)

聞き取り項目(抜粋): 利用した交通手段、施設利用頻度、  
移動に感じる不便・困りごとなど



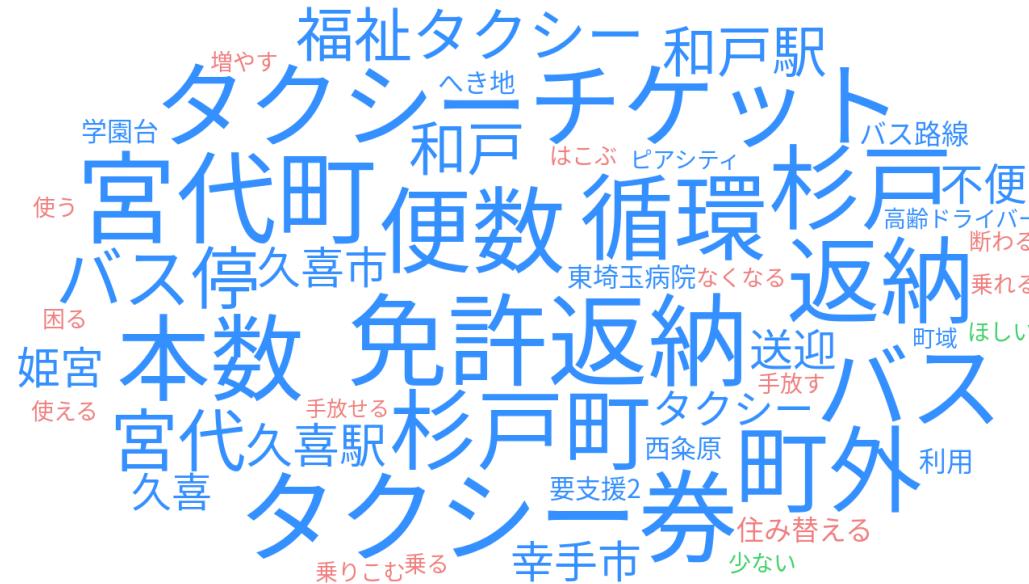
## 公共交通調査について(主要施設利用者調査)

## 町内主要施設におけるヒアリング調査

問:「移動に感じる不便・困りごとなど」に関するAIテキストマイニング※

※文字列を対象としたデータを深堀りすること。文章内の単語や文節などの単位で区切り、出現の頻度をイメージで示すもの。

青文字は頻出固有名詞、大きさはアンケート内言及頻度を反映。



公共交通利用者には、免許返納による影響や今後の心配が多くあり、現在行っている循環バス、タクシー助成への関心も高い。また、杉戸、久喜など近隣自治体への移動に関する言及も多く、町内に限らない移動があることが分かる。

## 公共交通調査について(住民ワークショップ)

### 住民ワークショップ

開催日:2025年11月29日午前・午後2回開催

開催場所:進修館 大ホール

参加者数:午前27名、午後20名

概要:宮代町の交通に関する現状共有、調査内容中間報告、  
他地域事例紹介、意見交換



## テーマ① 「身の回りの交通についての現状」

- ・姫宮のマルヤ(スーパー)が撤退して近くの人は困っている。現在90歳。免許返納したので循環バスを利用している、バスの増便希望
- ・子どもの登下校について、学校合併の話も出ており子供の足の確保も必要と感じる。デマンド交通を導入したらスクールバス的な利用の仕方も出来ればいいかも。
- ・75歳以上の老人会では皆公民館に集まる。バス停までが遠いという声を聞く。

## テーマ② 「どのような移動形態が望ましいか」

- ・循環バス、時間帯によっては利用者が少ないので、ハイエースなど小型化した方が経費も節約できるのではないか。
- ・町内のみではなく、久喜市など周辺地域にも行けるような交通が充実していると便利だし、人口も増えるのではないか。
- ・免許返納したらデマンド、循環、タクシーチケット利用してみたい。循環バスがカバーできていない地区はデマンド交通の導入も必要では？

### その他、自由意見

- ・ライドシェアやデマンドという言葉を今日初めて知った。町に有効な交通を考えるのならばまずはどんな交通手段があるのか、それぞれの特性などを教えてほしい。
- ・今はまだ運転できるので困っていないが、交通の問題があるということを認識できて良かった。
- ・区長だけでなく、バスを頻繁に使う利用者に直接ヒアリングなどができるれば、どういうことで困っているかリアルな声が聴けて良いと思う。

# 公共交通調査について(交通事業者ヒアリング)

## 交通事業者ヒアリング

開催日:2025年12月17日、12月26日

調査:認定NPO法人きらりびとみやしろ、太平交通、杉戸タクシー  
朝日交通(バス・タクシー部門)

### ヒアリング項目

#### (1)事業の現状

運行内容(路線、車両、時刻、運賃など)、利用者数の傾向、主要な利用者層

#### (2)利用者の反応・ニーズ

利用者から寄せられる良い点と不便な点、利用増減の理由

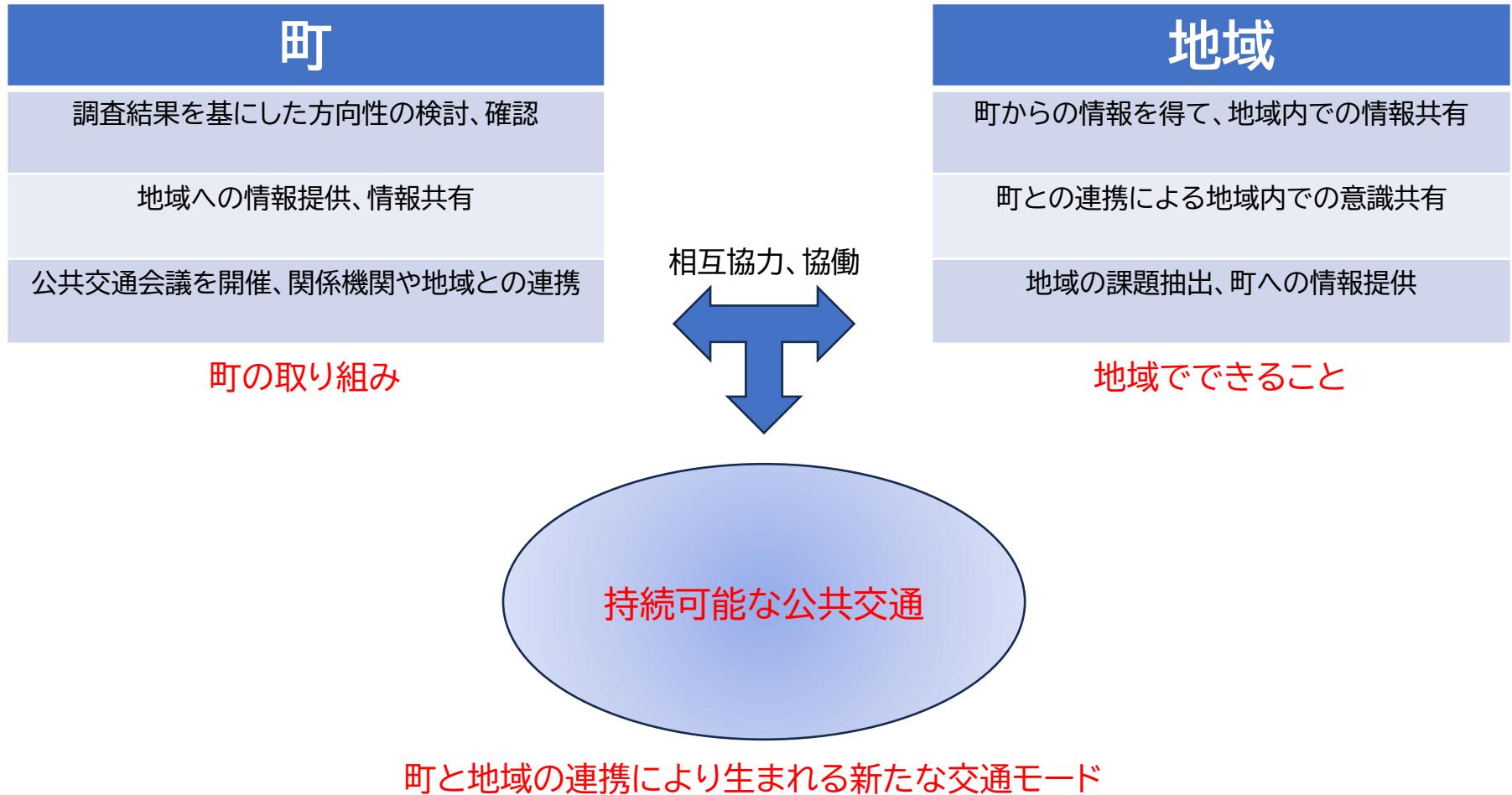
#### (3)事業運営上の課題

運転手や車両の確保について、デジタル予約や決済の導入状況、安全管理や利用マナーに関する課題

#### (4)今後の展望

拡充したいサービス、需要が伸びると想定される地域や時間帯  
ライドシェアや乗合タクシー等、新しいサービスへの見解

# 調査結果を受けた今後の展開イメージ



この体系図をもとに、町と地域が一緒に新たな交通モードを描けるように調えます